



JR総連を脱退！ 査問委員会設置！

第42回臨時大会

JR東海労は12月11日、大阪市内で第42回臨時大会を開催しました。来賓に、JS労より柳楽委員長、西副委員長、高木副委員長が出席しました。

淵上委員長は、「組織脱退・新組合（JRセントラル労働組合）の結成は、JR総連によるJR東海労への組織破壊攻撃で、加盟単組への組織破壊は前代未聞である。『JR総連と共に』の意識を転換するときだ。組織破壊攻撃を行ってきたJR総連と組織脱落者を許さないために、JR総連からの脱退と、査問委員会の設置を提起する」と挨拶しました。

質疑応答では、「組織破壊攻撃をやられて黙ってられるか」「JR総連と組織脱落者を断固許さない」などの発言が出されました。

本橋書記長は、答弁で「JR総連山口委員長から2029年解散が言われた。絶対に認めることはできない。JR総連は、

一方的休日出勤反対の闘いなどJR東海労の闘いを妨害してきた。

JR総連と決別することで、東海の地に労働運動の灯を消さないための闘いができる。組織展望を切り拓く闘いを展開しよう」と訴えました。

今大会で、JR総連からの脱退と、査問委員会を設置し、組織破壊の首謀者3人を制裁対象者とすることを決定しました。

